

● 指導者向け研修会（北海道標津郡標津町／山梨県南アルプス市）

プレイリーダーをめざす保育者が集まり、遊びの楽しさや楽しい気持ちの引き出し方などを体験します。

ぐちゃぐちゃ歩き

遊びの例：

- 1) しゃきしゃきと大きく手を振りながら、さまざまな方向へ歩きます。
- 2) わざと他の人の方へ近づいていき、ぶつかりそうになった瞬間、シャットとよけます。

P

ポイント：

しゃきしゃき歩いて、シャットとよける。その瞬間に体のチャンネルが変わることを意識してみましょう。

歩いて5歩

遊びの例：

- 1) 2人1組になり、向かい合って手を合わせ、その位置をよく覚えます。
- 2) 目をつぶり、その場で5歩で一回転回ります。お互いの手がうまく合えば成功。

ビームシュワッチ

（物や順番の取り合いにならないための遊び）

遊びの例：

- 1) 4種類ほどのポーズを決めておきます。（例：頭上で手を叩く・額の前で両手Vサイン・手を十字にクロス・両手を高く上げる）
- 2) プレイリーダーの合図に合わせて好きなポーズをとります。
- 3) プレイリーダーと同じポーズが2回とれた人から取りに行くことができます。



新聞紙とアルミホイルで作る遊具での遊び

作り方の例：

- 1) 新聞紙を細長く巻いてやりの形にし、先にアルミホイルを付けます。
- 2) 別の新聞紙をループ状に丸め、アルミホイルを巻きまます。

遊びの例：

- ・ 2人1組になり、1人が投げたループを、もう1人がやりで受け止めます。
- ・ 2人1組になり、1人が空中に投げ上げたループに向かってやりを投げ、輪に通します。
- ・ お互いにループを投げ合い、キャッチします。

P

ポイント：

「こう作る」「こう遊ぶ」ではなく、「○○くんだったらなに作る?」「どうやって遊ぶ?」という子供の自主性と独創性を大切にしましょう。

おばけゲーム

遊びの例：

- 1) おばけ役を数人、決めておきます。
- 2) 全員、目をつぶって両手を胸の前で立てながらゆっくり歩き、誰かと接触したら、手をゆっくりと上に上げます。
- 3) おばけ役の人は「ギャー！」と叫び、叫ばれた人もおばけになって次の獲物を探します。

歌遊びから全身運動への発展

遊びの例：

2人1組になり、「お寺の和尚さん」をジャンプしながら歌い、「芽が出て」で両目を横に引っ張り、「ふくらんで」でほっぺたを膨らまし、「花が咲いたら」で鼻と鼻をくっつけ、「じゃんけんぼん」で足じゃんけんをします。

プレイリーダーからのメッセージ

プレイリーダーは遊びをリードするガキ大将みたいな存在です。何かを行わせるのではなく、子供をおもしろおかしい世界に誘ってあげるためにはどうすればいいかということに技術を注ぎましょう。そのための第一歩はまず、自分が楽しいと思うことです。